

---

# 岐阜県立飛騨高山高等学校

学校長 河渡 正史

学校住所 (岡本キャンパス) 高山市下岡本町2000-30 電話 0577-32-5320  
(山田キャンパス) 高山市山田町711 電話 0577-33-1060

---

- 1 会議名 令和2年度 岐阜県立飛騨高山高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和2年6月1日 (月) 書面開催
- 3 参加者
- |     |       |                        |
|-----|-------|------------------------|
| 委員  | 宮下 伸一 | 高山信用金庫 理事              |
|     | 梶山 桂子 | プライベートヘアサロン 憇 (美容業)    |
|     | 辻 直司  | 岐阜県肉用牛協会 会長            |
|     | 垣根 真吾 | 岐阜県指導農業士               |
|     | 中川 久恵 | 責任屋商店 (靴販売業)           |
|     | 蒲 建治  | 育友会長 (全日制)             |
|     | 中澤恵里子 | 育友会長 (定時制)             |
|     | 下田真由美 | 部活動後援会長 (通信制)          |
|     | 中田 彰  | 同窓会長                   |
| 学校側 | 河渡 正史 | 校長                     |
|     | 大塚 浩昭 | 副校長 (全日制山田キャンパス)       |
|     | 大野 貴司 | 副校長 (定時制・通信制)          |
|     | 野村 宏治 | 事務部長                   |
|     | 大森 賢一 | 教頭 (全日制岡本キャンパス)        |
|     | 奥田 寛  | 教頭 (全日制岡本キャンパス)        |
|     | 水野 泰孝 | 教頭 (全日制山田キャンパス)        |
|     | 小田 雅人 | 教頭 (定時制)               |
|     | 高野 圭  | 教頭 (通信制)               |
|     | 塚本 和幸 | 教諭 (全日制岡本キャンパス・教務主任)   |
|     | 富田 喜友 | 教諭 (全日制山田キャンパス・教務主任)   |
|     | 近藤 哲也 | 教諭 (全日制岡本キャンパス・生徒指導主事) |
|     | 柳原 博之 | 教諭 (全日制山田キャンパス・生徒指導主事) |
|     | 荒川 一弘 | 教諭 (全日制岡本キャンパス・進路指導主事) |
|     | 砂田 正明 | 教諭 (全日制山田キャンパス・進路指導主事) |
|     | 田中 一幸 | 教諭 (全日制山田キャンパス・農場長)    |
- 4 会議の概要 (1) 学校運営協議会の設置運営及び組織について  
(2) 令和2年度 教育指導の重点及び学校経営計画について  
①学校運営全般に関すること  
②学習指導・生徒指導・進路指導に関すること  
③働き方改革の推進に関すること  
④活躍する生徒たちに関すること  
⑤その他
- 5 会議のまとめ  
(1) 学校運営協議会の設置及び組織について  
承認 (任命書送付)

(2) 令和2年度 教育指導の重点及び学校経営計画について

①学校運営全般に関すること

<意見>

- ・コロナ禍で大変な時に、先生方の苦勞が思いやられる。いつもの通りとはならないだろうが、それに近づけてもらえることを望んでいる。
- ・母校でもあり、愛着のある学校である。いつまでも素晴らしい学校であるためにも、更なる発展を期待する。

②学習指導・生徒指導・進路指導に関すること

<意見>

- ・「安全」に重きを置かなければならない時代だが、高校時代は生徒の将来を左右する大切な時期である。生徒たちが後で悔やむことがないよう、様々なことにチャレンジできるバランスの取れた指導を願いたい。
- ・速いペースで移り変わる世の中であるがゆえ、情報収集に力を入れ対応願いたい。
- ・自分の経験してきた時代とも異なるため、子どもの進路サポートには保護者としても不安を抱えている。子どもの自主性にも期待したいが、皆で力を合わせて進路実現をさせてやりたい。

③働き方改革の推進に関すること

<意見>

- ・先生方の時間確保のためには、このような書面でのやり取りも効果的と考える。先生方には生徒に全力を傾けて欲しい。

④活躍する生徒たちに関すること

<意見>

- ・コロナによる休校や自粛、今は我慢の時である。やりたくてもできず、残念な思いをすることもあるだろうが、長い人生の1つの経験と考え、頑張ってもらいたい。
- ・全日制の両キャンパス、定時制、通信制の学び方は異なっても、同じ飛騨高山高生として、それぞれが夢に向かって活躍している様子がよく伝わり、こちらもパワーをもらった。頑張ってもらいたい。

⑤その他

<意見>

- ・これまでに経験したことのないこの状況の中で学校生活を送らなくてはならないが、目標を失わず頑張ってもらいたい。
- ・国、県、地域が連携をとり、活躍する生徒を応援したい。

(3) 令和2年度 教育指導の重点及び学校経営計画について、書面にて説明し、全ての委員より承認をいただいた。